

元気いっぱい !!

 日本赤十字社医療センター附属乳児院
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center



〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/index.html>

理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、家庭復帰を支援します。

5月の食育

栄養士 高山

乳児部のこあら、うさぎ部屋のお友だちが昼食時に、プレイルームでゆでた空豆と水餃子を作りました。空豆がさやに入っている状態で見ると初めての子どもたち。さやから出てきた空豆を不思議そうに見ていました。

空豆を茹でている間に水餃子作りを開始しました。鶏挽肉、春キャベツ、椎茸をビニール袋に入れて混ぜ合わせ、種を作り、餃子包器の上に皮、種をのせてフタを閉じれば準備完了です。

スープに餃子を入れて火が通れば完成！空豆も茹で上がりホクホクの状態で頂きました。ご飯も丁度炊き上がり、出来たては美味しくて、何度もおかわりする姿が印象的でした。



こどもの日



保育士 櫻井

5月の節句の季節を迎えるにあたり、子ども達の健やかな成長を願い、4月下旬から玄関に兜、プレイルームに鯉のぼりを飾りました。

兜との写真撮影では勇ましい雰囲気か怖くて泣いてしまう子、堂々とした姿の子と対照的な反応が印象的でした。鯉のぼりは好評で、見上げて歌を歌い、意識しながら元気いっぱい遊んで過ごしました。たくさん遊んだあとは行事食を頂き、菖蒲湯に入り、日本の伝統を感じながら過ごしました。

夏の過ごし方

看護師 櫻木

初夏日差しの中、乳児院の子どもたちは毎日のように元気に帽子をかぶってお散歩に出かけています。今年の夏も猛暑になるとの予想が出ており、熱中症の予防が大切です。

乳幼児は体温調節機能が未発達であり、また、大人よりも地面からの照り返しの影響を強く受けます。自分で水分を補給する、服を脱ぐなどの暑さ対策が出来ない為、周囲の大人が適切な対応を心得ておく必要があります。①水分をこまめに、多めに摂ること②熱や日差しから守ること(衣類の調節、帽子をかぶる、日陰を選ぶ)③室内でも油断せずに室温、湿度の調整④子どもの汗や体温、顔色等の様子を常に気に掛けること これらのことを留意して、楽しい夏を過ごせるようにしていきたいと思います。



初めまして！(新人職員の紹介)

4月より勤務しています。皆様、宜しくお願い致します！
左上より、里親支援専門相談員(森田)、中央上、幼児部保育士(鬼木)、右上、看護師(飯島)、右下、乳児部保育士(中岡)、中央下、管理栄養士(松浦)、左下、幼児部保育士(伊東)。



ボランティアさんのご紹介コーナー

今月号より、乳児院で日頃お世話になっているボランティアの方々をご紹介させていただきます。今回は、衣類ボランティアさんです。13名のボランティアさんが毎日交替で、クリーニングから届いた大量の衣類をたたみ、各部屋ごとに分類し保育室まで台車で届けて下さいます。なくてはならない存在です！いつも、本当にありがとうございます。



編集後記

蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは汗をいっぱいかきながらも夢中になって色々な遊びを楽しんでいます。この季節ならではの楽しみに触れながら過ごしていきたいと思います。

